



心のこもったおもてなし

海女小屋で海女が実際に獲った海産物を食べることができるサービスを提供する海女小屋体験「はちまんかまど」を運営する兵吉屋のみなさんが第1回日本サービス大賞地方創生大賞を受賞しました。

7月5日、兵吉屋のみなさんが市長室を訪れ、木田市長に受賞を報告しました。野村一弘社長は「地域の特性を活かし、今後も国内外問わず接客していきたい」と述べ、海女頭の野村禮子さんは「いただいた立派な賞を傷つけないようなおもてなしをしたい」と抱負を語ってくれました。



安全に海を楽しむために

6月30日、市営安楽島海水浴場で海開きの安全祈願祭を行いました。木田市長は「今年もたくさんの人に安全に海水浴を楽しんでもらいたい」と述べ、安全やにぎわいを祈願しました。

また、安楽島保育所の5歳児がはんでん姿で「鳥羽物語」などを元気いっぱい踊り、式典に花を添えました。

安楽島海水浴場は8月31日まで開設します。



妙慶川が色とりどりに

7月7日、鳥羽青年会議所は地域のにぎわいを創出しようと、旧市街地を流れる妙慶川周辺で七夕にちなんだイベントを開催しました。

川沿いの遊歩道には、願い事を書いた多くの短冊が笹に飾られ、辺りが暗くなると子どもたちが一斉にケミカルライトを川へ投げ込み、天の川をイメージした演出で七夕の夜を彩りました。



マジヤパヒト号来航

7月15日、インドネシアと日本の友好親善のため、5月11日にジャカルタを出港した木造帆船「スピリット・オブ・マジヤパヒト号」が鳥羽湾へ寄港しました。

歓迎セレモニーでは船長のアンディ・イルハムさんが「両国がもっと仲良くなってきたらと思う」と日本との友好を願い、集まった関係者にお礼を述べました。また、一緒に乗船している日本人の冒険家・山本良行さんは「帆を固定している竹が折れるアクシデントもあった」と航海の大変さを語りました。